

## 技術業績賞を受賞して



金子 康智  
龍谷大学

この度は、機械力学計測制御部門の技術業績賞を賜り、深く感謝申し上げます。

私は三菱重工業（株）に入社以来、約30年間に渡り、蒸気タービン、ガスタービン、ポンプ水車など、様々なターボ機械の翼・インペラの振動強度設計、検証試験、それに関連する解析技術や計測技術の開発に取り組んできました。大学に異動後も企業時代と同じ内容を主要研究テーマにしており、約40年間の長きに渡り、翼・インペラの振動強度設計技術の向上に取り組んできたこととなります。

もちろん最初から好んでこの研究テーマを選んだ訳ではなく、入社後の最初の担当業務が「蒸気タービン長翼の開発（振動強度設計）」だったため、その後の押し寄せる関連業務から離れられなくなり、いつのまにかここまで来ていたという感じです。

入社当時は開発業務が多忙であったため学会活動とは無縁でしたが、余裕が出てきた入社後10年目位からは学会活動の重要性を認識するようになり、機械学会のD&D講演会には、ロータダイナミクスのセッションに毎年論文を投稿するようになりました。このような地道な活動が今回の受賞につながったと思っています。

欧米に比べると国内のロータダイナミクス分野の研究者は少なくなっていますが、今後も少しでも国内のロータダイナミクス分野の技術発展のために尽くしていきたいと考えていますので、宜しくお願い致します。